

1994年5月15日号
(平成6年)5月15日号

No.658

毎月1日・15日発行

発行/芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121

〒659 兵庫県芦屋市楠道町7番6号

第31回 交換学生が
決まりました

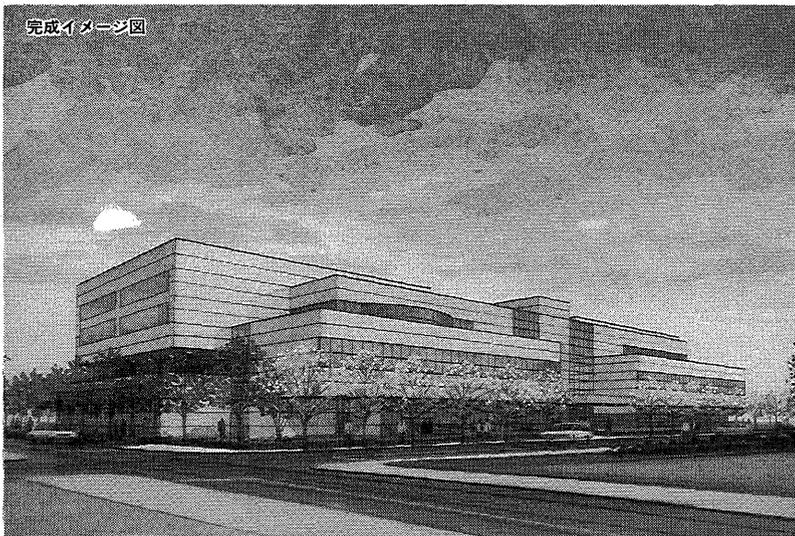
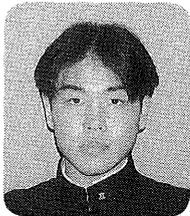
毎年、実施しているモンテペロ市への交換学生を、今年も、次の2人に決定しました。

交換学生となったのは、島田大介(しまだ・だいすけ、慶應義塾大学法学部1年生、船戸町在住、現在東京)さんと、梶原利香(かじはら・りか、神戸大学1年生、松浜町在住)さんです。

島田さんは、「モンテペロ市で体験するアメリカの生活を通して、国際的視野を養い、芦屋市とモンテペロ市との友好を深めることに役立てたい」と、梶原さんは、「アメリカに根付いているボランティア精神を吸収したい。そのためには自分自身が自立できるよう、アメリカで勉強したい」とそれぞれ抱負を述べています。

2人は、7月下旬から、約1カ月間の予定で、モンテペロ市の一般家庭に滞在し、市長表敬訪問や、パレードほかさまざまな交流会に参加して、両市の友好を深めます。

帰国後は国際交流協会が主催する事業などに参加し、地域での国際交流の輪を広げます。



3F	機能回復訓練室(体育室・プール) 日常生活訓練室、大和室、クアハウス 等
2F	社会福祉協議会、福祉団体室 ボランティアルーム 囲碁、陶芸、美術、音楽、パソコン室 和室、調理実習室、栄養指導室、 保育室、会議室、研修室、集会室 等
1F	保健センター、休日応急診療所 ハートフル福祉公社 デイサービスセンター (在宅老人C型・E型、在宅障害者) 多目的ホール ふれあいコーナー(展示、情報、図書) 相談室、売店、レストラン、自転車置場 等
B1	駐車場(80台)、倉庫、機械室 等

施設は、高齢者、障害者のかたのための福祉センターや、デイサービスセンターの福祉センターや、

同センターは、呉川町のコミュニティ道路と、南北幹線道路中央線の間の一区画に建設が予定されており、市立図書館、谷崎潤一郎記念館、美術博物館、中央公園などが集まる文化ゾーンに隣接しています。

建物の周囲には植栽を施し、南側には出入りの自由な散策路を、北側には既存の桜を生かした歩行者スペースを設けるなど、周囲の景観との調和に配慮しています。

建物の周囲には植栽を施し、南側には出入りの自由な散策路を、北側には既存の桜を生かした歩行者スペースを設けるなど、周囲の景観との調和に配慮しています。

(仮称)芦屋市保健福祉総合センターの
基本設計がまとまりました

高齢者、障害者をはじめ、市民すべての健康維持・増進と、福祉の向上を図る、総合的な施設として「(仮称)芦屋市保健福祉総合センター」の基本設計が、このほどまとまりました。

「(仮称)保健福祉総合センター」は、市民一人ひとりが生きがいを持ち、安心して暮らせるような各種の事業を行うほか、交流の場づくりとして、またボランティアの育成・レクリエーション活動などを通じて、「ふれあい」とぬくもりのある福祉のまちづくりの拠点となることを目指します。

現にどうぞご期待ください。
問い合わせは、保健福祉部総務課施設担当(☎2041)へ。

モンテペロ市からの交換学生のお世話をしてくださる家庭を募集しています。学生は7月中旬から市内に滞在し、1週間単位で各家庭にホームステイします。5月30日(月)までにお申し込みください。

第29回の交換学生を中心とする青年会の企画により「国際交流青年会イブニングセミナー・国連職員胸中を語る」を次のとおり開催します。

日時 5月19日(木) 午後7時～
会場 市民センター
対象 高校生以上の青年
内容 国連現職員によるお話し
費用 無料

いずれも問い合わせは、芦屋市国際交流協会(☎34-6340)へ。

第5回 富田碎花賞
全国から詩集を募集します



市では平成2年に、市制50周年と詩人富田碎花生誕100年を記念して、「富田碎花賞」を創設しました。以来、毎年全国各地からたくさんの詩集の応募があり、この賞にふさわしい作品を決定しています。第5回を迎える本年も右のとおり募集をします。

■過去4回の受賞作品(敬称略)

- 第1回(平成2年)「心の中にもっている問題」 - 長田 弘 - 晶文社刊
- 第2回(平成3年)「星痕を巡る七つの異文」 - 時里 二郎 - 書肆山田刊
- 第3回(平成4年)「救済まで」 - 北畑 光男 - 土曜美術社刊
- 第4回(平成5年)「沖繩島」 - 大崎 二郎 - 青帖社刊

対象 平成5年7月から6年6月末日までに発行された詩集(翻訳、アンソロジー、復刻、遺稿集は除く)
賞・賞金 正賞 プロンプス像および賞状/副賞 50万円
締め切り 7月31日(消印有効)
選考委員 伊藤信吉(詩人・評論家)/上林猷夫(詩人・元日本現代詩人会会長)/小林武雄(詩人・兵庫県文化協会理事)/杉山平一(詩人・帝塚山学院短大名誉教授)/永瀬清子(詩人・元岡山県詩人協会会長)
応募方法 詩集2冊(返却不可)を「富田碎花賞」事務局へ郵送(〒659 伊勢町12-25 美術博物館内、☎31-9066)

ごあんない REPORT

菊苗の配布と菊づくり相談会

●日時…5月30日(月)14時30分～16時 ●会場…市役所南館地下1階経済課 ●問い合わせ…経済課(☎38-2033)

母子家庭等特別相談

●日時…6月9日(水)10時～15時 ●会場…阪神県民局尼崎庁舎 ●内容…母子家庭等を対象に離婚・相続など、女性弁護士による法律相談 ●申し込み…6月3日(金)までに福祉課保護・母子福祉係(☎38-2042)へ

お子さんについての身近な相談窓口

●相談日…月・水・金曜日9:00～17:00、火・木曜日9:00～12:00 ●会場…市役所南館1階 ●内容…家庭児童相談員による相談、家庭において子どもを養育する上での悩みごとや心配ごとなど(電話も可) ●問い合わせは、福祉課保護・母子福祉係(☎38-2042)へ。

福祉医療費(乳幼児)助成制度の対象者が拡充します

従来から、市内に住所を有する0歳児を対象に医療費の助成を行っていましたが、7月1日から1歳児、2歳児も医療費助成の対象になります。詳しくは、別途対象者に送付します「ご案内」をご覧ください。申請はお越しくください。申請は、5月20日(金)から市役所南館5番医療助成係の窓口で受け付けます。 ●問い合わせは、保険年金課医療助成係(☎38-2037)へ。

国民健康保険料申告書の提出を

保険料を正しく算定するために、5月末日までに申告書を提出してください。また、一定の所得以下の世帯については、生計の状況等により保険料が軽減される場合があります。 ●問い合わせは、保険年金課保険係(☎38-2035)へ。

平成6年度分の国民年金保険料の免除申請は5月末日までに

病気で働けなくなったり、経済的な理由により、どうしても保険料を納めることが困難な場合は、申請により免除を受けることができます。(所得制限あり) ●問い合わせは、保険年金課年金係(☎38-2036)へ。

蚊・ハエ・ゴキブリ駆除に薬剤散布

日本脳炎など伝染病の予防対策として、5月から10月まで薬剤散布を行います。下水道管には油剤を、側溝や水路には乳剤

を散布します。過去の発生状況を考え、J R線以南と松ノ内・船戸・大原各町は粒剤を、J R線以北は、乳剤を散布します。油剤の散布前には、放送車でお知らせします。

住宅防災相談

●日時…5月19日(木)14:00～16:00 ●会場…市役所北館2階第1会議室 ●問い合わせ…開発指導課(☎38-2071)へ

危険物取扱者保安講習会

●講習期間…7月～12月 ●会場…神戸市ほか ●対象…現在危険物の取り扱いに従事している人 ●受け付け期間…5月23日(月)～31日(火) ●問い合わせ…消防本部予防課(☎38-2098)

社会福祉協議会の催し

●お茶のみ友達紹介 ●日時…5月21日(土)10:00～15:00 ●会場…福祉会館115室 ●対象…男60歳女55歳以上の独身のかた ●第18回高齢者「会食懇談会」 ●日時…5月21日(土)12:00～ ●会場…老人福祉会館 ●対象…70歳以上の市民 ●会費…500円 ●定員…50人 ●内容…会食をしながら懇談とアトラクション ●申し込み…5月15日(日)から ●老人健康相談 ●日時…5月26日(木)14:00～16:00 ●会場…福祉会館 ●内容…専門医師の相談等 ●問い合わせは、いずれも社会福祉協議会(☎32-7530)へ。

福祉なんでも相談

●日時…6月4日(土)9時～17時 ●会場…阪神県民局尼崎庁舎 ●内容…福祉・年金・保険等福祉全般 ●問い合わせ…阪神県民局福祉課(☎06-481-7647)へ

INTTからのお知らせ

宝塚エリアへ電話をかけるときに必要であった市外局番(079)が5月19日(木)午前10時より、不要となります。 ●問い合わせは、NTT芦屋営業所(☎31-0742)へ。

納期

国民年金保険料(5月分) 5月1日～31日 ●問い合わせ…保険年金課(☎38-2036)
法人市民税・事業所税 3月決算法人 5月1日～31日
軽自動車税 5月1日～31日 ●問い合わせ…税務管理課(☎38-2015)
一納付には便利な口座振替を一固定資産税・都市計画税 第1期 5月17日～31日 ●問い合わせ…課税課(☎38-2017)
自動車税 5月1日～31日 ●問い合わせ…西宮財務事務所(☎0798-23-7788)

毎月20日は「阪神地域ノーマイカーデー」

第四回ティータイムセミナーのお知らせ

日時 六月十八日(土)午後一時
場所 市民センター401(一室)
講師 (株)松下サック(一)室
受講料 千五百円(非会員二千円)
申し込み 国際交交流協会(☎63-340)

東ドイツの「壁」、チェコの「ビロード革命」などヨーロッパの冷戦構造を終息させるにあたって放送の果たした役割は大きい。

マルクスレーニン主義を標榜したソ連型産主義体制は、強力な秘密警察や軍隊に守られ、簡単に揺らぎそうもな思われたが、あつてなく崩壊するところとなった。

家族からはじまる

国連は一九九四年を「国際家族年」と決め、家族にかかわる問題について、政策や社会福祉などの充実を進めるために国際協力が必要であると発表しました。核家族化や急激な高齢化社会への移行、また結婚観の変化、晩婚化や少子化傾向、非婚や夫婦別姓、さらには父母どちらかだけの単親家庭、高齢者の単身世帯の増加など、いま世界的規模で伝統的な家族の価値観が揺らぎ、「家族」のあり方が変わろうとしています。

国際家族年 シンボルマーク

「国際家族年」のシンボルマークは、ひとつの「心」が屋根の下で、もうひとつの「心」がつながっているところをイメージして描かれました。ここに描かれている「心」とは、単に命や愛というものだけでなく、家、暖かさ、思いやり、安らぎ、人の絆、寛容を象徴しています。また、開かれた空間は家族が社会の構成単位であること、さらに継続性、不安定さ、個性をも示しています。家族の複雑な概念を抽象的に表し、また社会の核でもある最も小さい単位での民主主義を象徴しています。

小さなデモクラシー

「国際家族年」のシンボルマークは、ひとつの「心」が屋根の下で、もうひとつの「心」がつながっているところをイメージして描かれました。ここに描かれている「心」とは、単に命や愛というものだけでなく、家、暖かさ、思いやり、安らぎ、人の絆、寛容を象徴しています。また、開かれた空間は家族が社会の構成単位であること、さらに継続性、不安定さ、個性をも示しています。家族の複雑な概念を抽象的に表し、また社会の核でもある最も小さい単位での民主主義を象徴しています。

1994 国際家族年

家族の風景

いま 家族は……



家族でにぎわう芦屋川河口

「国際家族年」のシンボルマークは、ひとつの「心」が屋根の下で、もうひとつの「心」がつながっているところをイメージして描かれました。ここに描かれている「心」とは、単に命や愛というものだけでなく、家、暖かさ、思いやり、安らぎ、人の絆、寛容を象徴しています。また、開かれた空間は家族が社会の構成単位であること、さらに継続性、不安定さ、個性をも示しています。家族の複雑な概念を抽象的に表し、また社会の核でもある最も小さい単位での民主主義を象徴しています。

「国際家族年」のシンボルマークは、ひとつの「心」が屋根の下で、もうひとつの「心」がつながっているところをイメージして描かれました。ここに描かれている「心」とは、単に命や愛というものだけでなく、家、暖かさ、思いやり、安らぎ、人の絆、寛容を象徴しています。また、開かれた空間は家族が社会の構成単位であること、さらに継続性、不安定さ、個性をも示しています。家族の複雑な概念を抽象的に表し、また社会の核でもある最も小さい単位での民主主義を象徴しています。

「国際家族年」のシンボルマークは、ひとつの「心」が屋根の下で、もうひとつの「心」がつながっているところをイメージして描かれました。ここに描かれている「心」とは、単に命や愛というものだけでなく、家、暖かさ、思いやり、安らぎ、人の絆、寛容を象徴しています。また、開かれた空間は家族が社会の構成単位であること、さらに継続性、不安定さ、個性をも示しています。家族の複雑な概念を抽象的に表し、また社会の核でもある最も小さい単位での民主主義を象徴しています。

いま世界的傾向として、伝統的な家族の価値観が揺らぎ、「家族」の形が変わろうとしています。すでに言われてきた核家族化や急激な高齢化社会への移行に加えて、非婚率の上昇や晩婚化傾向、出生率の低下という最近の日本に特に顕著な現象は、さまざまな社会制度の見直しの必要性とともに、家族の意味を新たな人間関係への模索として改めて問い直すことでもあるようです。いま、私たちが「家族」に求めるものとは何なのか。また、「国際家族年」のスローガン「家族からはじまる」小さなデモクラシー」の意味について、一緒に考えてみたいと思います。

経済企画庁「国民生活満足度調査」によると、一人の女性が一生に産する子の平均は、ついに一・五人にまで減少しており、日本が「少子社会」となってきたことがわかります。出生率の低下要因としては、教育費また住宅事情などの経済的・精神的負担、非婚化、晩婚化、女性の育児と仕事の両立の困難などが、各方面で影響が心配されています。一方、核家族化が進んだ結果、六十五歳以上の老人と子夫婦の同居率は減ってきており、老人だけの世帯の占める比率が大きくなってきています。

親子関係はいつの時代も手と手

最近、S M A Pという六人の男の子たちを主人公にした「ジュート」という映画を撮ったんです。ロケなどで、朝早く撮影に行くと、どこで調べたのか「追っかけ」の女の子たちが、もう先にきて待っているんですね。学校にも行かんとて、最初は思ってたんですが、学校の始

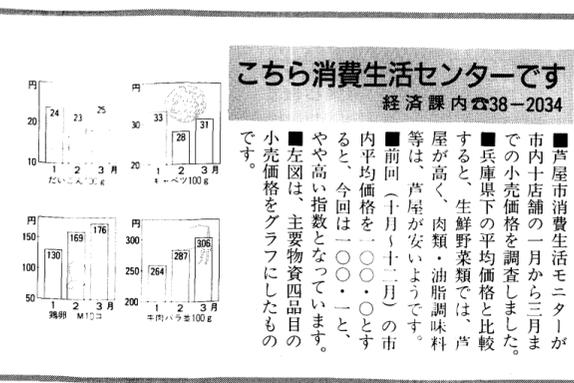
成を考慮しながら、親と子、夫と妻、家族それぞれの自己実現をめざす現代家族の揺らぎには大きなものがあります。「家族からはじまる小さなデモクラシー」とは、こうした揺らぎの中で、家族それぞれの人権を認め合い、より大きな自由を享受できることをめざし、男性も女性も、若い人も、多くの課題を乗り越えて行く必要があります。

家庭に求める役割

20-29歳の家庭
30-39歳の家庭
40-49歳の家庭
50-59歳の家庭
60-69歳の家庭
70-79歳の家庭
80-89歳の家庭
90-99歳の家庭

'94国際チャレンジ・デー

ウォーカー
Do!スポーツ & Let'sコール
☎38-7777
15分間スポーツしたら1回だけ電話してね!



国際ボランティア貯金 協力で芦屋市に感謝状

芦屋市は、去る四月二十一日に行われた第六十一回通信記念日式典で、郵便貯金事業に深い理解を寄せ、国際ボランティア貯金等郵便貯金の普及促進に積極的協力し、事業の発展に多大の貢献をされたとして、近畿郵政局長から賞状を受

EDUCATION 教育のページ

やさしい心の通いあう学校

—福祉教育・環境教育の取り組み—



学校では、いろいろな行事に高齢者を招待し、交流を図り、豊かな知恵や経験を学ぶなどして、福祉の心を育てる取り組みをしています。
また、学校の教育活動全体で、環境に積極的に関わったり、リサイクル活動をするなどして、身近な環境への関心を高め、よりよい環境を保全していく態度を育てることに力を入れています。

生徒会長の小松君は、次のように語ってくれました。
「リサイクル活動は、とてもしんどくて根気のいる仕事ですが、みんなが協力してくれているので、一生懸命がんばります」
回収業者から得た代金は、生徒のために役立てることにし、今回は、「ウォータークーラー」を備え付けることにしました。
空き缶一キログラムで四十円にかなりませんが、自分たちでこつこつと集めた成果が実ることを楽しみにしています。

■学校美化活動

身の周りを美しい環境にするために、校務員の高橋さんにも花壇づくりに取り組んでいます。秋に咲かせる花の準備がもう始まっています。
まず、四月から五月にかけて土作りをします。種をまき、芽がでると、苗を移しかえる作業をします。

自分たちの手で美しい環境を

精道中学校

学校教育目標の中に「美しい環境を作ろう」という一項目があります。自分たちの手で環境を整えることで、豊かな心を育てようとの願いです。

■リサイクル活動

生徒会で何か具体的な活動をしようと相談して始めたのが、リサイクル活動です。

生徒会の執行部が全校生徒に呼び

かけ、アルミ缶と牛乳パックを持ち寄ることにしました。校門の近くに用意された回収箱に、一人ひとりの生徒が登校した時に入れるようになっています。時には、地域の清掃も兼ねて、学校の周辺のアルミ缶拾いもしています。
箱がいっぱいになったら、執行部が中心になって、アルミ缶を踏みつぶす作業を繰り返します。それが一番骨の折れる仕事で、足が痛くなることもあります。体育会の部活動対抗リレーで「アルミ缶つぶし競争」もアイデアとしてやってみました。

美化委員会を中心に、全校生から募った有志や、育友会のかたがたも加わり、花いっぱい学校づくりに進めています。
一方、日ごろの清掃活動にも力を入れ、全教職員が生徒と一緒に汗を流しています。
普段なかなかか目の届かない所は、月に一回、特別の日を設け、美化委員会が清掃をしています。



福祉の心は学級づくりから 朝日ヶ丘小学校

平成四・五年度、兵庫県教育委員会の指定を受け、福祉教育実践推進校として、人間としてのやさしさや思いやりの心を育て、それを生活の中で実践しようとする意欲や態度づくりを目指してきました。
次の四つの目標を掲げ、全校で取り組んでいます。
1 ひとりひとりを大切に作る学級づくりを進める
2 学校の教育活動全体に、福祉の観点を位置づけて実践する
3 児童会行事や運動会・音楽会・造形展などの行事で、地域の人々との交流を深める
4 養護老人ホーム和風園との交流を日常的なものにしていく

■和風園との交流

和風園との交流は、児童の発達段階に応じて、工夫してきました。
低学年では、生活科の学習で作った野菜をプレゼントし、食べてもらいました。音楽クラブが和風園に出かけ、リコーダーの演奏を聴いていただいたこともあります。また学校での児童会行事にお招きし、お手玉作りや折り紙を教えてもらいました。

学校行事のあるときは、児童会で案内状を持っていき、たくさんのお年寄りを招待しています。
このような交流の中で、進んで手紙を書く児童も出てきました。学級通信などで和風園の様子を紹介しているクラスもあります。



■日常の学校生活で

子どもたち同士の交流も大切にしています。二年生が一年生に紙芝居でお話をしたり、学校探検の時の案内役を務めたりします。あさがおの種のプレゼントもしました。
国語や道徳の時間では、福祉の心を大切にする教材をもとに、学習をすすめています。
また六年生は卒業前に、地域や校内の清掃をしたり、これまでお世話になったかたがたを会食に招待したりして、感謝の気持ちを表しました。このように日常生活の中で、お互いを思いやり尊重しあう「福祉の心」が育っていくことを願っています。

このページの問い合わせは、学校教育課(☎2087)へ。

荒 憲一ピアノリサイタル

6月18日(土)7:00pm(開演)
6:30pm(開場)
ルナ・ホール
料金: ¥3,000(前売り)
¥3,500(当日)

- (ALL MOZART PROGRAM)
- 幻想曲ニ短調 K. 397
 - ロンドニ長調 K. 485
 - ソナタハ長調 K. 330
 - ソナタ変ロ長調 K. 570
 - ソナタイ長調 K. 331
 - “トルコ行進曲付”



お知らせ

音楽座ミュージカル
『とつてもゴースト』
ユーレイでも恋ができるのでしょうか!
8月14日(日)13:00pm 開演
チケット販売の詳細は財団まで

この「広報あしや」を公演当日ご持参のかたは、当日券を前売券料金扱いとします。
※前売券が売り切れの場合、当日券を発行しませんので、上記の扱いも中止となります。
▷問い合わせ◁
芦屋市文化振興財団
業平町8-24
(☎31-4962)